

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	TICADプロセス	担当部局	中東アフリカ局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	アフリカ第二課	課長 麻妻信一			
会計区分	一般会計	施策名	I-6 アフリカ地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省組織令第58条及び第62条	関係する計画、通知等	特になし				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第四回アフリカ開発会議(TICADIV)で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムの一環として、閣僚級フォローアップ会合を毎年アフリカ内で開催し、開発パートナーとアフリカ諸国が支援策の実施状況を議論するほか、今後の実施に向けた提言等を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	TICADIVで打ち出された対アフリカ開発支援策の実施状況をレビューするためのTICAD閣僚級フォローアップ会合をアフリカ内で開催する。フォローアップ会合の開催に向けては、TICAD共催者(国連、UNDP、世銀、AU委員会)との事前協議(共催者運営委員会等)を通じて同会合の運営に関する各種意思決定を行うほか、TICADフォローアップ事務局(アフリカ第二課)が各ドナー国・機関より取りまとめた「横浜行動計画」の進捗状況をもとに年次進捗報告を作成し、同会合における議論の基礎資料とする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	25	25	33	27	15
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	25	25	33	27	15
	執行額	0	28	24	—	—	
執行率(%)	0.0%	111.9%	72.2%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
	目標: アフリカ諸国からの閣僚級参加者に対し、TICADIVで公約した我が国アフリカ支援策の進捗状況を報告し、参加者から広く理解を得る。 実績: アフリカ参加国数	成果実績	ヶ国	0	42	47	49
		達成度	%	0	79	88	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
	TICAD閣僚級フォローアップ会合を毎年1回アフリカ内で開催する。	活動実績 (当初見込み)	回	0 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
単位当たりコスト	24(百万円 / 1会合)		算出根拠	執行額 / 開催実績			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	報告書作成	3	3	平成25年度は閣僚級フォローアップ会合そのものは実施しないことによる減。			
	国内会議費	0	1				
	旅費	5	5				
	国外会議費	20	7				
計	27	15					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	TICADIV「横浜行動計画」で採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするため、我が国が国際公約として実施する閣僚会議であり、アフリカ地域に在外公館を有し、国際機関等との緊密なネットワークを有する外務省が実施することが適当。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	TICADIVで創設されたTICADフォローアップ・メカニズムの一環として共催者やアフリカ諸国、開発パートナーとの様々な調整を経て実施するものであり、支出内容は妥当。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	TICADIVで創設されたTICADフォローアップ・メカニズムの一環として着実に実施しており、所期の目標を十分に達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件事業は、第四回アフリカ開発会議(TICADIV)で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムの一環として、我が国が国際公約として実施するものであり、共催者やアフリカ諸国、開発パートナーとの様々な調整を経て毎年アフリカ内で閣僚級フォローアップ会合を開催する必要があることから、アフリカ地域に在外公館を有し、国際機関等との緊密なネットワークを有する外務省が実施することが適当である。また、同会合の開催及び年次進捗報告による説明責任確保の姿勢は、アフリカ諸国や開発パートナー等から高く評価されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			－
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り			－
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	490	平成23年行政事業レビュー	477

個別事業名：

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

外務省
24百万円

【一般競争入札】

A. 国内企業
2百万円

年次進捗報告書作成

【随意契約】

B. 国内企業4社
0.9百万円

国内会議開催費

【旅費】

C. 個人7名
3百万円

旅費

在外公館
17百万円

【随意契約】

D. 現地企業8社／個人72名
17百万円

国外会議開催費

個別事業名：

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託契約	報告書作成(デザイン・翻訳等)	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	国外国際会議開催費	8			
計		8	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エフビーアイコミュニケーションズ	TICAD年次進捗報告書作成	2	1	95
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京ビジネスサービス	TICAD共催者会合(会議場設営、レセプション)	0.4	-	
2	ニューオータニ	共催者との意見交換	0.2	-	
3	サイマルインターナショナル	文書翻訳	0.2	-	
4	個人	文書翻訳	0.1	-	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	旅費	1	-	
2	個人B	旅費	0.5	-	
3	個人C	旅費	0.5	-	
4	個人D	旅費	0.4	-	
5	個人E	旅費	0.3	-	
6	個人F	旅費	0.3	-	
7	個人G	旅費	0.3	-	
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	現地業者	TICAD閣僚級フォローアップ会合会議場設営、レセプション	8	-	
2	現地業者	同会議用音響機材等借り上げ	3	-	
3	個人	同会議通訳	2	-	
4	現地業者	同会議参加者用シャトルバス借り上げ	1	-	
5	個人	同会議通訳	1	-	
6	現地業者	同会議現地連絡室用事務機器借り上げ	0.7	-	
7	現地業者	同会議連絡車両借り上げ	0.4	-	
8	個人	同会議現地協力者(会場係等のべ70名)への謝礼	0.8	-	
9					
10					